

橈骨遠位端骨折の研究

橈骨遠位端関節内骨折の掌側ロッキングプレート固定術後の臨床評価：若年者と高齢者との経時的変化の比較

1. 研究の対象

2014年9月から5年間に当院整形外科にて橈骨遠位端骨折と診断され、手術後リハビリテーションを半年以上受けた方。

2. 研究目的・方法

橈骨遠位端骨折は関節外骨折と関節内骨折では、治療を含めた後療法が異なる特に、橈骨遠位端関節内骨折は後療法の過程においても難渋し長期間のリハビリ期間も要する。先行研究においても、若年者と高齢者におけるの経時的変化の文献は乏しく、橈骨遠位端関節内骨折に限定した報告はない。今回は、術後の若年者と高齢者を65歳未満と65歳以上の2郡比較をおこなう事で、術後の回復経過と相違があるかを調査し、高齢者の目標設定の変更が必要かを検討する。
研究期間：実施許可日から2025年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ情報：年齢、性別、受傷原因、骨折の型、単純X-P所見、尺骨茎状突起の骨折、三角線維複合体の損傷の有無、遠位橈尺関節の不安定性の有無、受傷前のADLおよび活動量 等

臨床評価項目：術後6週、3か月、6か月、1年間の定期的な評価

自動関節可動域：回内、回外、伸展、屈曲の健側比（％）

握力：健側比（％）

DASHスコア、PRWEスコア：平均値±標準偏差

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

資料 3

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

川崎市立川崎病院リハビリテーション科 久永希

住所：神奈川県川崎市川崎区新川通 12-1

電話：044 - 233 - 5521（代）

-----以上